

(別紙) 新旧対照表

新	旧
<p>2 地域再生計画の作成主体の名称 <u>滋賀県及び米原市</u></p> <p>3 地域再生計画の区域 米原市の全域</p> <p>4 地域再生計画の目標 米原市は滋賀県東北部地域に位置し、総面積は 223.1 km² である。日本百名山の一つ伊吹山を東に擁し、総面積の約 7 割を占める森林に蓄えられた水は、清流天野川や姉川となって地域を流れ、母なる琵琶湖に注いでいる。 (略) 当地区はまた、東海道新幹線、東海道本線、北陸本線、近江鉄道の鉄道網ならびに名神高速道路、北陸自動車道の高速道路網があり、京阪神、中京圏、北陸圏を結ぶ交通の結節点として特徴を活かした交流のまちづくりを進めている。 (略) 現在、当地域の人口は <u>41,251 人</u> (平成 12 年国調) で、近年微増傾向にあるものの、高齢化率は <u>21.6%</u> (同) であり、まもなく 4 人に 1 人は高齢者となる時代を迎える情勢にある。 (略)</p>	<p>2 地域再生計画の作成主体の名称 米原市および<u>滋賀県坂田郡近江町</u></p> <p>3 地域再生計画の区域 米原市および<u>滋賀県坂田郡近江町</u>の全域</p> <p>4 地域再生計画の目標 米原市および<u>近江町</u>は滋賀県東北部地域に位置し、総面積は 223.1 km² である。日本百名山の一つ伊吹山を東に擁し、総面積の約 7 割を占める森林に蓄えられた水は、清流天野川や姉川となって地域を流れ、母なる琵琶湖に注いでいる。 (略) 当地区はまた、東海道新幹線、東海道本線、北陸本線、近江鉄道の鉄道網ならびに名神高速道路、北陸自動車道の高速道路網があり、京阪神、中京圏、北陸圏を結ぶ交通の結節点であることも大きな特徴である。 (略) 現在、当地域の人口は <u>40,945 人</u> (平成 12 年国調) で、近年微増傾向にあるものの、高齢化率は <u>21.8%</u> (同) であり、まもなく 4 人に 1 人は高齢者となる時代を迎える情勢にある。 (略)</p>

新	旧
<p>米原市の基本理念（新市まちづくり計画）にうたわれているように、交流人口の拡大、すなわち交流型産業の振興を図り、多くの出会いと交流を広げるまちづくりを進める必要がある。</p> <p>（略）</p> <p>現在の米原市は、平成 17 年 2 月に、<u>山東町・伊吹町・米原町</u>が合併し、さらに平成 17 年 10 月に<u>近江町と合併してできた新しい市である。</u></p> <p>（略）</p> <p>〔<u>山東地区</u>〕 美しいまちづくり 自治会別地域診断と美しいまちづくり条例の制定</p> <p>〔<u>伊吹地区</u>〕 総合発展計画 地区計画 字別 10 年長期計画の策定</p> <p>〔<u>米原地区</u>〕 まいはらまちづくりほっとプラン事業 地区別まちづくり計画</p> <p>〔<u>近江地区</u>〕 夢のふくらむ元気な自治会活動 自治会別まちづくり活動 〔山東地区〕</p> <p>（略）</p> <p>（目標 3）農業の振興</p> <p>（略）</p> <p>これらの結果として、地域の特産品としての野菜・米等のブ</p>	<p>米原市と近江町の合併に伴う新市の基本理念（新市まちづくり計画）にうたわれているように、交流人口の拡大、すなわち交流型産業の振興を図り、多くの出会いと交流を広げるまちづくりを進める必要がある。</p> <p>（略）</p> <p>現在の米原市は、平成 17 年 2 月に、<u>旧山東町・旧伊吹町・旧米原町</u>が合併してできた新しい市である。<u>さらに平成 17 年 10 月には近江町が米原市に編入合併する予定である。</u></p> <p>（略）</p> <p>〔<u>旧山東町</u>〕 美しいまちづくり 自治会別地域診断と美しいまちづくり条例の制定</p> <p>〔<u>旧伊吹町</u>〕 総合発展計画 地区計画 字別 10 年長期計画の策定</p> <p>〔<u>旧米原町</u>〕 まいはらまちづくりほっとプラン事業 地区別まちづくり計画</p> <p>〔<u>旧近江町</u>〕 夢のふくらむ元気な自治会活動 自治会別まちづくり活動 〔山東地区〕</p> <p>（略）</p> <p>（目標 3）農業の振興</p> <p>（略）</p> <p>これらの結果として、地域の特産品としての野菜・米等のブ</p>

新	旧
<p>ランド化を図りながら、直売所での直販ならびにインターネットを活用した通販、さらには物流拠点施設の活用などにより、生産者の顔が見える販売促進・販路の拡大を図り、農業の振興を図っていくことが第三の目標である。</p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5 - 1 全体の概要</p> <p>エコミュージアムプログラムの拠点施設となるグリーンパーク山東、道の駅“伊吹の里”、醒井水の宿駅、道の駅“近江母の郷”など拠点施設の整備充実を推進する。</p> <p>これらの拠点施設と、広域交通の拠点である米原駅並びに米原ジャンクションとの交通網の充実を図るとともに自然体験や農山村体験の舞台となる当地域内の各地の拠点とを有機的に結びつける交通網の整備を推進する。これにより当地域内の地域資源や拠点施設の総合力向上を進め、機能分担や補完力を高めるとともに、地域住民の交通利便性の向上を図る。</p> <p>(略)</p>	<p>ランド化を図りながら、直売所での直販ならびにインターネットを活用した通販などにより、生産者の顔が見える販売促進・販路の拡大を図り、農業の振興を図っていくことが第三の目標である。</p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5 - 1 全体の概要</p> <p>エコミュージアムプログラムの拠点施設となるグリーンパーク山東、伊吹の里、醒井水の宿駅、道の駅“近江母の郷”など拠点施設の整備充実を推進する。</p> <p>これらの拠点施設と広域交通の拠点となる米原駅ならびに米原ジャンクションとの交通網の充実、ならびに自然体験や農山村体験の舞台となる当地域内の各地の拠点とを有機的に結びつける交通網の整備を推進する。これにより当地域内の地域資源や拠点施設の共有化を進め、機能分担や補完力を高めるとともに、地域住民の交通利便性の向上を図る。</p> <p>(略)</p>

新	旧
<p>こうした活動と連携する形で、エコミュージアム拠点施設が中核となって、都市住民向けに地域情報を発信するとともに、優れた自然環境、農林業、歴史文化、生活文化などを素材とした都市住民向けの体験ツアー商品としての「交流・体験プログラム」の開発、農林産物を活用した商品開発・販路開拓、<u>流通基盤の整備</u>などの取り組みを展開する。</p> <p>(略)</p> <p>5 - 2 . 法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p><u>道整備交付金を活用する事業 【A 3 0 0 1】</u></p> <p><u>対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。</u></p> <p><u>なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。</u></p> <p><u>市道：道路法に規定する市町村道に認定済み</u></p> <p><u>市道市場池下線（平成 1 6 年 3 月 3 1 日）</u></p> <p><u>市道五反田役場前線（平成 8 年 4 月 5 日）</u></p> <p><u>市道宮田米原東口線（平成 1 3 年 3 月 9 日）</u></p> <p><u>市道入江磯梅ヶ原線(仮称)（平成 1 8 年 3 月認定予定）</u></p> <p><u>林道：森林法による湖北地域森林計画（平成 16 年 12 月樹立）に路線を記載</u></p>	<p>こうした活動と連携する形で、エコミュージアム拠点施設が中核となって、都市住民向けに地域情報を発信するとともに、優れた自然環境、農林業、歴史文化、生活文化などを素材とした都市住民向けの体験ツアー商品としての「交流・体験プログラム」の開発、農林産物を活用した商品開発・販路開拓などの取り組みを展開する。</p> <p>(略)</p> <p>5 - 2 . 法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p><u>該当なし</u></p>

新	旧
<p style="text-align: center;"><u>林道上丹生柏原線</u></p> <p><u>[施設の種類 (事業区域)、事業主体]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道 (米原市) 米原市 ・林道 (米原市) 滋賀県、米原市 <p><u>[事業期間]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道 (平成 18 年度 ~ 22 年度) ・林道 (平成 18 年度 ~ 21 年度) <p><u>[整備量及び事業費]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道 1.450km、林道(舗装)5.000km、林道(開設)1.000 km ・総事業費 2,938,000 千円 <p style="margin-left: 40px;">市道 2,588,000 千円 (うち交付金 1,294,000 千円)</p> <p style="margin-left: 40px;">林道 350,000 千円 (うち交付金 175,000 千円)</p> <p>5 - 3 . その他の事業 (地域再生の認定に基づく支援措置) <u>地域再生法による特別の措置を活用するほか、以下の事業を行うものとする。</u></p>	<p>5 - 3 . その他の事業 (地域再生の認定に基づく支援措置) 以下の事業を行うものとする。</p>

新	旧
<p>地域再生支援のための「特定地域プロジェクトチーム」の編成【C3003】</p> <p>【国土交通省、総務省、財務省、農林水産省、厚生労働省、経済産業省、環境省、内閣府】</p> <p>(略)</p> <p>取り組みを行うことで達成される成果</p> <p>米原に暮らす住民が、薬草という地域資源についての理解を深めることができる。</p> <p>(略)</p> <p>その他</p> <p>既に、特定地域プロジェクトチームの設置を行い、米原エコミュージアムの実現に向け動き出しているところである。</p> <p>現在、以下の2つの個別テーマについての検討グループを設置し、検討を進めているところである。</p> <p>(略)</p> <p>6. 計画期間</p> <p>平成17年度～22年度</p>	<p>(1) 地域再生支援のための「特定地域プロジェクトチーム」の編成【C3003】</p> <p>【国土交通省、総務省、財務省、農林水産省、厚生労働省、経済産業省、環境省、内閣府】</p> <p>(略)</p> <p>取り組みを行うことで達成される成果</p> <p>米原(近江地域を含む)に暮らす住民が、薬草という地域資源についての理解を深めることができる。</p> <p>(略)</p> <p>その他</p> <p>既に平成16年12月に承認を受けた「山東・伊吹エコミュージアムプログラム」の支援措置(旧プログラム支援措置番号:11203)として、現在、設置に向けて関係省庁と調整中である。</p> <p>今後は、以下の2つの個別テーマについての検討グループ設置を目標に関係機関との調整を進めていく予定である。</p> <p>(略)</p> <p>6. 計画期間</p> <p>平成17年度～平成21年度</p>

新	旧
<p>7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項</p> <p>4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に<u>米原市において必要な調査を行い、状況を把握・公表するとともに、関係行政機関と地元住民代表からなる「米原市地域再生協議会」を開催し、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととする。</u></p> <p>8 地域再生計画の実施に関し<u>当該地方公共団体が必要と認める事項</u> (略)</p> <p>8 - 2 その他の事項</p> <p><u>米原エコミュージアムの実現のための施策としては、構想段階の事業も少なくないため、継続的に調査・研究活動を行いながら、プログラムの充実を図っていく。また、プログラムの実現にあたって、既存の法規制で緩和する必要があるものについては構造改革特区の申請を行う。</u></p> <p>これまでの委員会・研究会活動等の中で、岐阜薬科大学との関係を深めてきている。今後も同大学との交流・連携を深めていくこととする。</p>	<p>7. <u>地域再生計画の目標の達成に係る評価に関する事項</u></p> <p>4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い、状況を把握・公表するとともに、関係行政機関と地元住民代表からなる「<u>米原市地域再生協議会</u>」を開催し、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととする。</p> <p>8 <u>その他地域再生計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項</u> (略)</p> <p>8 - 2 その他の事項</p> <p><u>米原エコミュージアムの実現のためには、拠点施設と広域交通の拠点となる米原駅ならびに米原ジャンクションとの交通網の充実、ならびに自然体験や農山村体験の舞台となる当地域内の各地の拠点を有機的に結びつける道路網の整備を進める必要がある。</u></p> <p><u>これら道路の一部は、地域再生法第5条第3項の特別措置(道整備交付金を活用する事業)の適用を受けて事業化していくことを予定しており、特別措置の適用に向けた準備を進めることとする。</u></p> <p><u>このほか、米原エコミュージアムの実現のための施策としては、構想段階の事業も少なくないため、継続的に調査・研究活動を行いながら、プログラムの充実を図っていく。また、プログラムの実現</u></p>

新	旧
	<p data-bbox="1137 339 1977 419"><u>にあたって、既存の法規制で緩和する必要があるものについては構造改革特区の申請を行う。</u></p> <p data-bbox="1137 435 1977 563">これまでの委員会・研究会活動等の中で、岐阜薬科大学との関係を深めてきている。今後も同大学との交流・連携を深めていくこととする。</p>